

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER **10** Vol.4



10月は
経済と地域社会の発展月間
米山月間です。

©Alyce Henson / Rotary International



ロータリー：
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリー会長
イアン・H.S.ライズリー

RI第2650地区スローガン

愛着と誇り

国際ロータリー第2650地区
2017-18年度ガバナー

田中 誠二

Contents

ガバナーズレター	P2
愛着と誇り：私のロータリー物語	P3
地区事業報告	P4
クラブ活動報告／ロータリー情報／ 歴代RI会長語録／ロータリー豆知識	P6
会員数の増減及び出席率表	P7
会員の動き	P8



持続可能なクラブと ロータリーの発展に向けて

国際ロータリー第2650地区
2017-18年度ガバナー

田中 誠二

早いものでガバナーに就任して3か月が過ぎました。おかげさまで9月末をもって公式訪問も75クラブで実施させていただきました。どのクラブへ訪問させていただいても、あたたかく和やかな雰囲気でお迎えいただき、ありがたく思っております。そして、何よりも私にとって、公式訪問は各クラブの独自性や魅力を知る良き学びと気づきの場であり、会員の皆様の声や各クラブで蓄積された奉仕活動におけるロータリーの智慧をお聞かせいただく貴重な機会となっています。

周知のとおり2016年規定審議会の結果を受けて、クラブ運営における柔軟性が一層高まりました。例会、会員の種類、入会金制度等においてクラブの自由度が増し、補助金等さまざまな手続きの簡略化をはじめロータリーのしくみがさらに変わりました。しかしながら、イアン・ライズリーRI会長は、これはロータリーの本質を変えるものではないと明言されています。112年の長い歴史と全世界に120万人の会員数を誇るロータリーを繋ぐもの、それは、ロータリーが持つ普遍性、すなわち「倫理観の重視」と「超我の奉仕」への献身であり、この精神性と実践哲学は今も昔も変わらず、我々が大切にすべきものと述べられています。

今後、ロータリーや社会の変化にどのように我々が対応するか、クラブの未来を見据えて、それぞれが考え行動することが求められていきます。いずれにしても、「超我の奉仕」を軸とした奉仕を通じて、人々の人生に、地域や国、そして世界に変化をもたらすことが、ロータリーの持続可能な発展と未来を守ることに繋がると確信します。

すでに我が地区の多くのクラブでは、会長各位のリーダーシップのもと、中長期の観点からクラブ運営にどのような変化をもたらすことができるか、また、ロータリーの奉仕活動を通じて、地域に、国に、世界に、そして、私たちの心にどのようなプラスの変化をもたらすか、全クラブ的議論を巻き起こして方向性を見出し、理想とする未来像やビジョンを描いて行動しようとする取り組みが始まっています。こうした各クラブの未来志向で先進的な取り組みに心から敬意を表し、それぞれのクラブ運営や奉仕プロジェクトの素晴らしい成果を期待いたします。

10月は「経済と地域社会の発展月間」であり、また、日本のロータリーでは、「米山月間」でもあります。ロータリーでは、人々の暮らしに

持続可能で測定可能な改善をもたらす地域経済の発展を促すため、グローバル補助金や地区補助金を活用した奉仕プロジェクトの取り組みを奨励しています。ロータリーが創設されて1世紀以上が経過しても、人類は未だに紛争や道德の危機にさらされているのが現状です。戦争や紛争に対する刹那主義や行き過ぎた拝金志向の浸透、そして、モラルや道德の危機が世界的に懸念されています。

経済発展は人々の生活の質を高める源泉であるからこそ、ロータリーが示す利他的な考え方、高い道徳心、職業を通じて人類の福祉増進に貢献する姿勢は、現代社会に求められる規範意識だと考えます。人心の荒廃が危惧される時代にこそ、華やかではないがロータリーの哲学や理念を実践するロータリアンの地道な真の奉仕活動が今、社会に強く望まれています。地域に真の豊かさをもたらす、人々の心を動かす奉仕活動に共に邁進したいと思います。

一方で、ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的とし、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する日本最大級の民間奨学団体です。この月間に因んで、米山奨学事業の意義を理解する機会として、米山奨学生、学友、或いは地区委員を例会にスピーカーとして招へい頂くことや奨学会からの資料をもとにクラブフォーラム等の企画と実施をお願いする次第です。

結びに、10月24日は「世界ポリオデー」に指定されています。1988年には125か国以上の常在国があり、推定で35万人のポリオ患者が発生していましたが、いまでは、常在国がバキスタン、アフガニスタン、そして、ナイジェリアの3か国となり、ポリオ症例数は全世界で99.9%まで減少しました。世界からポリオを撲滅しない限り、今後10年以内に、世界での年間発症数は20万件に上ると予想されています。ポリオの常在国はわずか3か国ですが、ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子どもに及ぶことになります。ポリオ撲滅は間近にせまっていますが、ここからが正念場となります。今後も子どもたちにワクチンを投与し、サーベイランスを強化できるよう、ポリオ撲滅活動へのご寄付にご協力賜りますようお願いいたします。

秋も日に日に深まりやがて夜寒の候を迎えますが、ご自愛専一のほどお祈りいたします。

愛着と誇り：私のロータリー物語

世界に目を向けよう



2017-18年度 ガバナー補佐
(奈良第2グループ)

増田 善昭 (檀原RC)

2013年のポルトガルのリスボンで開催されたRI国際大会に参加したことはロータリーに対して改めて愛着と誇りを持つことが出来た素晴らしい思い出です。

たまたま「ロータリーの友」を見てい

ましたら国際大会の案内が載っておりまして、今年のRI会長は日本人らしいと聞いていましたので、旅行社に問い合わせをすると「まだ空いております」との返事でしたので早速申込をしてツアーに参加致しました。現地の本会議場の広さには驚きましたが、田中作次RI会長のスピーチはそれ以上に感動的でした。こんな素晴らしいロータリアンが日本におられたこと、それも本年度RI会長とは…。その後、式典も終わりアトラクションが始まりますと、横に居る家内が何故か興奮していますので、「どうした?」と聞きますと「イル・ディーヴォや…」と叫んでいました。このグループが出演することは当日まで全く知りませんでしたので本当にびっくり致しました。このグループは、4か国イケメン男性4人組のヴォーカルグループ(スペイン人、フランス人、スイス人、アメリカ人)で家内は元から大ファンだったそうです。

すでに式典が終了後で来賓などの前方席はガラガラに空きましたの

で直ぐに我々も席を移し特等席でコンサートを楽しむことが出来ました。家内も大喜びでRIの組織の大きさと活動に触れロータリアン冥利に尽きる大会でした。アトラクション終了後、友愛の広場をブラブラと廻っていると、一人の見覚えのある米国人がブースを出していました。彼はマークといい、第5000地区ハイマウイ島のキヘイワイアロータリークラブのメンバーで、我が第2650地区と姉妹地区である関係で当時の中窪啓司地区国際奉仕委員長のお世話で私共のクラブと姉妹締結をした時の先方クラブの世話役でした。こんな所でまた会うとは…。こんなサプライズもあり特にこの年のRI国際大会は印象に残っています。その後、各地区から参加されていたロータリアンと共にフランスワインの銘醸地を巡る旅を楽しんだことも思い出深いものでした。



この時以来、私どもは国際大会をはじめとしたロータリー関連の海外行事には出来るだけ夫婦で参加しロータリーに愛着と誇りを持つ機会をさらに増



やしたいと心掛けています。

是非多くの日本のロータリアンも、様々な海外でのロータリー活動に目を向けまた参加する事を通して、ロータリーにより一層の愛着と誇りを持って頂けたらと願っています。

ラオスでの出会いから



2017-18年度 ガバナー補佐
(京都第1グループ)

小森 一宏 (京都中RC)

ロータリー歴27年の私のこの1年間の何とも不思議な出会いのストーリーをご紹介します。

2015ハノイpoliomissionに続き、2016.11月ラオスポliomissionに参加した際、たまたま現地HIS採用

のガイド VIEさんと知り合い、彼がリーダーを務めるルアンパバンのボランティアグループSMILE EDUCATIONの支援を決め、2017.1月ベンチャンを訪問し、プロジェクターやコピー機、教材などを購入支援し、日本語を学ぶ村の子ども達の教育支援プログラムを自クラブの予算にて実行しました。また、3月にはルアンパバンの現地学習塾を訪問し、学生達の大歓迎を受け授業の様子を見学し、日本文化研修に招待する学生との面談を終え、午後は欧米からの観光客が多いルアンパバンの自然の森やメコン川沿のカフェ、毎夜開催されるナイトマーケットなどを見学しました。その後、ベンチャンの日本大使館へVISAの申請手続きを終えて、4月の桜の季節にラオスの学生2人を1週間、京都に招待しホームステイや京都観光、大学見学、会員との美山ロッジ合宿など京都の文化体験を支援しました。

そして、9月にはラオスでの「水と衛生」の支援に向けて、グローバル補助支援の検討について、探しあてたベンチャンRCとの面談をすべく、我がクラブ会長以下3名で、今年度中の事業開始を目指して、ポリオ以来4



度目のラオス訪問の予定です。この拙稿が掲載される10月にはベンチャンRCとのmeetingの成果を報告できるかと思えます。

また、今回のグローバル補助金事業には、米山学友のIPSO代表LUCA氏の協力を得て、また、驚いたことにベンチャンRCのメンバーにも、和歌山の大学を出た米山学友のTHO氏がいることがメールのやり取りで発覚し、その後は日本語でのメールのやり取りになり、日本の米山学友会の絆が色々な場面でロータリーの出会いを支援してくれていることを実感しました。先程もベンチャンRCのTHO氏より3360地区のベンチャンRCのWEBサイトをRENEWしたとの連絡があり、また、米山奨学生時代のホストの和歌山西RCでの卓話のときの写真や2460地区の米山奨学生卒業式の写真も送ってくれました。まだ、会ったこともないラオス人と米山という絆だけで結ばれて。まさか、ポリオのガイドとの出会いからこのような事業に発展するとは。さて、これからラオスのロータリアンとどのような交流が展開されるのか。皆さんもロータリーフェローズと共に「ENJOY ROTARY」!!

そうだ、ラオスのWHOのSONE女史との飲み会もセットしなければ…

地区事業報告

「地区ロータリー財団セミナー」のご報告



2017-18年度
ロータリー財団委員長
バストガバナー

中澤 忠嗣

(京都南RC)

平素はロータリー財団にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本年度も「地区ロータリー財団セミナー」を8月5日、立命館大学朱雀キャンパスにて開催をさせていただきました。

セミナーでは、第1ゾーンRRFC池田徳博様と京都モーニングRC 太田和夫様に基調講演を賜り、その後、地区補助金について、また、グローバル補助金の申請手続きについて説明をさせていただきました。

休憩の後、グローバル補助金人道的奉仕の実践例として、国



際平和と開発機構(IPSO)理事長 ジャンルカ・ボナンノ様のご講演に加えて、元平和フェロー・財団学友 金子由佳様にもご講演をいただきました。ご参加いただきました皆さまには、ロータリー財団の活動にご理解

をいただき、今後の各クラブの奉仕事業にお役立ていただければと考えております。

2016年の規定審議会の結果が示している通り、ロータリーは大きく変化しています。そのことを踏まえて、各クラブにおいてもどのように対応されるのかが、今後の大きな課題でもあるでしょう。

今回のセミナーを参考に、地区補助金あるいはグローバル補助金等を活用され、今までにない奉仕事業、今まで実践できなかった奉仕事業に取り組んでいただければと思います。時代の変化を感じ、ロータリーの変化を認識、その上で各クラブの奉仕事業を実践していただければと願っております。



第1回 社会奉仕委員長会議のご報告



2017-18年度
社会奉仕委員長

北野 加代子

(栗東RC)

8月19日(土曜日)、リーガロイヤルホテル京都で2017-18年度第1回社会奉仕委員長会議を開催しました。97クラブの社会奉仕委員長の研修です。

田中ガバナーよりご挨拶、諮問委員河本バストガバナーよりご講評を頂きました。委員長挨拶で「まちづくり基金奨励事業」の終了の御礼を申し上げ、優れた受賞事業の現地視察を年数回行い、この秋に京都洛西RC「嵯峨嵐山特別保存地域竹林整備事業」を予定していることを申しあげました。

講演(60分)は大津中央ロータリークラブの社会奉仕事業、「安心・安全の街づくりのための『徘徊高齢者捜索システム検証実験』」(2016-17年度まちづくり基金奨励事業最優秀賞)について、講師は2016-17年度

会長 浜本博志氏、2017-18年度幹事 野口真理子氏に行って頂きました。

2016-17年度下半期事業発表を5クラブから行って頂きました。

①京都洛東RC「東山の植栽としば刈り事業」②奈良RC「藤原仲麻呂『実はいい人だった』プロジェクト」③栗東RC「琵琶湖の水環境の保全と創造」④舞鶴RC「第32回五老ヶ岳ロータリーの道『登ろう会』」⑤福井北RC「食育で街なかにぎわい創出プロジェクト」です。いずれも奉仕事業の内容とともに発表資料の制作レベルが高く、ご準備に対してお礼申し上げます。

地区HPに社会奉仕委員長会議の様態を掲載しました。また、2016-17年度事業報告集を全クラブに配布しました。クラブで共有され実践に有意義に活用頂ければ幸いです。

第2回委員長会議を、2018年2月4日(日曜日)リーガロイヤルホテル京都にて「事業の継続は如何にあるべきか」をテーマに開催します。今後とも地区社会奉仕委員会にご協力頂きますようお願い申し上げます。



IM第3組報告書



2017-18年度
IM第3組 IM実行委員長

大藤 忠

(京都洛中RC)

去る8月26日(土)に京都ホテルオークラにて第3組会長会議およびIM第3組を開催いたしました。

会長会議では次年度ホストクラブは園部RC、次々年度ホストは京都さくらRCが初めて務めて頂くことが確認されました。

午後からのIM第3組は、実に1521名の登録を頂きました。2016年規定審議会の結果を受けて、ロータリーの方針や手続きに多くの変更が加わり、クラブにさらなる「柔軟性」と「自主性」がもたらされることになりました。

テーマを「ロータリーの原点と未来」こんなに変わるの・・・ロータリーとして、多くのご参画を得て開催を致しました。

田中誠二ガバナーの熱いご挨拶の後、基調講演は、元規定審議会代表議員・RI理事エレクト三木明様をお迎えして、的確なご指導、ご教授を賜りました。三木様には、この後のパネルディスカッションのパネリストとしても、ご登壇頂きました。

パネルディスカッションでは、今回全員参画型のIMを目指



し、初の試みとして500台のアンサーパッドを駆使して皆様のご意見を聞く機会を得ました。コーディネーターとして規定審議会代表議員・パストガバナー坂本克也様に進行をお引き受けいただき、三木様と4人のパネリストの方々、会場の皆様に貴重なご意見を拝聴いたしました。

詳しくはIM報告書に記しますが「ロータリーは時代に即し、変えるべきところは変え、残すべきところは残す」ということではないでしょうか。「目配り、気配り、おもいやり」その大切さを今一度思い起こした所でございます。

この度の、IMのホストが京都洛中ロータリークラブ全員一丸となって、IM第3組をすばらしい意義あるものにしようと1年間努力してまいりました。この結果が各クラブの未来に少しでもお役に立てれば、こんなに嬉しいことはございません。我々はこのIMホストクラブの経験を糧に、今後のロータリー活動に活かし、会員一同心新たに取組んでまいり所存でございますので、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。



新会員セミナー



2017-18年度
ロータリー情報委員長

北谷 泰彦

(大和郡山RC)

2017年8月26日、地区ロータリー情報委員会主催の「新会員セミナー」が、IM3組開催に併せて、京都府下各クラブの新会員を対象として開催され、75名の新会員が講演とグループ討議に、熱心に参加されました。

この新会員セミナーは、新会員の方に、ロータリーの知識を深めていただくこと、ロータリーでの幅広い交流を楽しむこと、ロータリーの魅力を実感していただくこと、を目的としています。

セミナーは、開会点鐘のあと、田中誠二ガバナーから「ロータリーは、奉仕の哲学を学び、倫理基準を高め、会員それぞれの持ち場で奉仕の実践を行う修行の場である。」とのご挨拶をいただいて開始されました。

続いての講演は、中島健地区職業奉仕委員会委員長から、ロータリーの創成期からセントルイス国際大会決議23-34にいたるロータリーの奉仕理念の形成過程をたどりながら、職業奉仕の意味やその実践の重要性、現在のロータリーのバックボーンとなっているさまざまな標語や指針、価値観について、深くしかも分かり易く解説をしていただきました。

そして、セミナーのメインプログラムであるグループ討議は、参加者が10テーブルに分かれて、ロータリー情報委員とRLI委員の司会のもと、ロータリーに入会したきっかけや感想、自分の職業の紹介、自分の職業で心がけているサービスの方針や理念、などについて意見を発表しあい、初対面の人たちが初めてテーブルを囲んで話し合っているとは思えないほどの盛り上がりの中に、たちまち予定の時間が過ぎてゆく、充実したものとなりました。

参加者の皆さまからは、今回のセミナーで他クラブ会員との交流を深めることができた、ロータリーを理解する貴重な機会になった、参加して良かった、との評価の声を頂くことができました。





2017-18年度
京都東山ロータリークラブ会長
小森 直之

平成29年8月5日、蝉の音が鳴り響くロームシアター京都にて、京都東山ロータリークラブ創立50周年記念事業特別記念講演会を開催いたしました。講師として、平成24年にノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大学iPS細胞研究所 所長・教授 山中伸弥先生をお招きし、『iPS細胞がひらく新しい医学』と題して講演頂きました。

地域の皆様から多数のご応募があり、当日は猛暑の中、会場のロームシアター京都メインホールが満席となる1,800名の方にお越しいただきました。“再生医学”という大変難しいテーマでのお話ではありましたが、専門的な知識を持たない方にも理解できるよう、これからの再生医療の最先端を行くiPS細胞の研究が何をつくりだし、何を求めていくのか、どの様な未来の可能性があるのかをお話していただき、大変有意義な講演会となりました。

講演の最後に、京都東山ロータリークラブから、iPS細胞の研究



の今後のための寄付をお願いしたところ、来場の一般の皆様方から、60万円を超える寄付を頂戴致しました。諸外国とは異なり、研究資金を集めることが難しい日本で、『iPS細胞』という新しい未来へ、来場された皆様

が目に向けて頂ける機会となったことに、大変喜びを感じております。

最後になりましたが、今回このような会を開催できたのも、多くのロータリアンの皆様のご尽力があったからこそと、痛感しております。

改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

京都大学 iPS 細胞研究所 所長・教授

山中伸弥氏 講演会

iPS 細胞がひらく
新しい医学



京都東山ロータリークラブ 創立 50 周年記念事業 特別記念講演
2017年8月5日 15:00開場 16:00開会 ロームシアター京都メインホール 参加費無料

ロータリー情報

ロータリー会長エレクトが逝去

米国時間の7月13日、国際ロータリー会長エレクトのサム F. オオリ氏(ウガンダのカンパラ・ロータリークラブ)が、予定通りに受けた手術後の合併症により逝去されました。第108代ロータリー会長としてのオオリ氏の任期は、2018年7月1日に始まる予定でした。

昨年、会長に選出された際、オオリ氏は次のように語っていました。「相互の責任とお互いを思いやる心という潜在的な価値観と中核的な信条を土台とするロータリーは、私の人生そ

のものとなりました。ロータリーを通じて誰かの生活をよりよくすることができ、大きな満足感を覚えます」

ライズリー会長は、「サムさんは、多くの意味で特別な存在でした。このようなかたちで亡くなられたことは、ロータリー、サムさんの地元地域、世界にとって大きな損失」であるとし、「現在、サムさんの人生を称えるための計画を立てており、計画が固まり次第、発表いたします」と述べました。ロータリーはオオリ氏を称え、記念基金を設立します。

(典拠 <https://my.rotary.org/>)

心を動かす

国際ロータリー
歴代会長

語 ころく 録



国際ロータリー
1979-80年度会長
ジェームスL.ボーマー, Jr.

「一人の子供の命を救う価値はいかほどでしょうか。その答えは誰にもわかりません。しかし、その子が我子であったなら、その値札にはこう記されているはずです。『売り物にあらず。この命は値がつけられないほど貴重なものです。』と。」

出典・参照「国際ロータリー会長の100の名言集」

今さら聞けない?

ロータリー
豆知識
まめちしき

ニニコボックスの原点は、ペナルティボックス

従前、日本の某ロータリークラブでは、例会に遅刻・早退した会員及びロータリーバッジの着用を失念した会員に対し、罰金を科していました。いわゆる「ペナルティボックス」です。

1936年7月、同クラブ社会奉仕委員長が、「ペナルティボックス」に代わり、「ニニコボックス」を提案し、祝い事があった場合、会員に寄付をお願いすることとなりました。その後、「ニニコボックス」は日本各地のクラブに広がることとなりました。



第2650地区 2017年7月会員数の増減および出席率表

京都府(42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
綾部	25	0	0	25	25	0	0	3	98.61	1
福知山	59	0	0	59	59	0	0	4	92.16	0
福知山西南	43	0	0	43	43	0	0	4	91.60	1
亀岡	28	3	0	31	28	3	0	4	100.00	0
亀岡中央	13	2	0	15	13	2	0	3	72.22	1
京丹後	34	2	3	33	34	2	3	3	89.55	3
京都	197	1	1	197	197	1	1	4	99.17	0
京都伏見	97	0	1	96	97	0	1	3	89.14	9
京都平安	21	1	0	22	21	1	0	2	86.36	5
京都東	88	0	1	87	88	0	1	4	95.55	0
京都東山	70	0	0	70	70	0	0	4	87.22	4
京都北東	24	0	0	24	24	0	0	4	82.97	1
京都イブニング	19	0	0	19	19	0	0	4	100.00	1
京都城陽	35	0	0	35	35	0	0	4	100.00	2
京都桂川	30	1	0	31	30	1	0	4	94.70	0
京都北	67	1	1	67	67	1	1	4	87.61	0
京都南	228	5	0	233	228	5	0	4	91.86	0
京都モーニング	45	0	0	45	45	0	0	4	95.18	5
京都紫野	52	0	0	52	52	0	0	4	100.00	0
京都中	38	1	0	39	38	1	0	4	100.00	0
京都西	105	0	0	105	105	0	0	4	99.49	0
京都乙訓	39	0	0	39	39	0	0	4	87.45	1
京都洛中	91	0	1	90	91	0	1	4	100.00	0
京都洛北	70	0	0	70	70	0	0	4	97.33	0
京都洛南	30	0	0	30	30	0	0	4	92.50	2
京都洛西	48	0	0	48	48	0	0	4	91.66	5
京都洛東	44	4	0	48	44	4	0	4	91.80	0
京都嵯峨野	24	0	0	24	24	0	0	4	82.29	1
京都さくら	25	0	0	25	25	0	0	4	74.00	7
京都西北	39	0	0	39	39	0	0	3	87.62	2
京都西南	43	2	0	45	43	2	0	4	93.93	3
京都紫竹	33	1	0	34	33	1	0	4	98.18	2
京都朱雀	36	0	0	36	36	0	0	4	82.29	3
京都田辺	19	0	0	19	19	0	0	4	92.65	3
京都山城	22	1	0	23	22	1	0	3	96.88	0
京都八幡	29	0	0	29	29	0	0	4	83.50	3
舞鶴	26	0	0	26	26	0	0	3	86.07	0
舞鶴東	36	0	0	36	36	0	0	4	88.65	3
宮津	31	2	0	33	31	2	0	4	93.04	0
園部	23	0	0	23	23	0	0	4	96.25	0
宇治	42	1	0	43	42	1	0	4	98.77	1
宇治鳳凰	46	1	0	47	46	1	0	4	96.25	6
小計	2,114	29	8	2,135	2,114	29	8	3.8	92.01	75

奈良県(14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
あすか	54	0	0	54	54	0	0	4	94.10	1
五條	32	0	0	32	32	0	0	3	94.04	0
平城京	23	0	0	23	23	0	0	4	82.85	2
生駒	20	1	0	21	20	1	0	3	79.05	2
橿原	43	0	0	43	43	0	0	4	79.20	1
奈良	125	1	0	126	125	1	0	4	90.22	5
奈良東	34	2	0	36	34	2	0	4	100.00	0
奈良西	42	0	0	42	42	0	0	4	87.25	2
奈良大宮	65	1	0	66	65	1	0	4	98.13	0
桜井	19	0	0	19	19	0	0	4	91.16	4
大和郡山	49	0	0	49	49	0	0	4	89.63	2
やまとまほろば	32	0	0	32	32	0	0	4	85.27	3
やまと西和	25	0	0	25	25	0	0	4	95.78	2
大和高田	95	1	0	96	95	1	0	4	100.00	4
小計	658	6	0	664	658	6	0	3.9	90.48	28

福井県(19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
福井	135	2	0	137	135	2	0	4	82.17	11
福井あじさい	64	2	1	65	64	2	1	4	85.42	5
福井フェニックス	59	0	0	59	59	0	0	4	81.36	10
福井東	49	1	1	49	49	1	1	4	80.62	10
福井北	109	1	0	110	109	1	0	4	74.75	10
福井南	36	0	2	34	36	0	2	3	88.25	1
福井西	34	0	0	34	34	0	0	4	85.57	4
福井水仙	24	0	0	24	24	0	0	4	76.04	2
勝山	27	0	0	27	27	0	0	4	88.89	3
丸岡	35	0	0	35	35	0	0	4	81.90	0
三国	32	0	0	32	32	0	0	4	89.60	4
大野	41	3	1	43	41	3	1	3	79.33	1
鯖江	32	0	0	32	32	0	0	4	79.50	3
鯖江北	14	0	0	14	14	0	0	4	80.35	0
武生	55	1	1	55	55	1	1	4	75.93	3
武生府中	28	0	0	28	28	0	0	4	96.15	0
敦賀	30	1	0	31	30	1	0	4	88.69	0
敦賀西	18	0	0	18	18	0	0	3	81.48	1
若狭	25	2	1	26	25	2	1	3	94.38	1
小計	847	13	7	853	847	13	7	3.8	83.70	69

滋賀県(21クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
びわ湖八幡	45	0	0	45	45	0	0	4	98.22	1
五個荘能登川	21	0	0	21	21	0	0	4	82.50	0
東近江	36	1	2	35	36	1	2	4	86.47	0
彦根	59	4	0	63	59	4	0	3	92.77	6
彦根南	70	0	0	70	70	0	0	3	91.04	0
湖南	39	2	0	41	39	2	0	3	95.26	3
草津	26	0	0	26	26	0	0	4	96.92	0
水口	32	1	0	33	32	1	0	4	97.52	0
守山	37	1	0	38	37	1	0	4	97.20	0
長浜	61	1	0	62	61	1	0	4	100.00	3
長浜東	58	1	1	58	58	1	1	4	96.39	0
長浜北	24	1	0	25	24	1	0	3	93.28	4
近江八幡	39	4	0	43	39	4	0	4	97.30	1
大津	116	2	2	116	116	2	2	4	100.00	5
大津中央	31	0	0	31	31	0	0	4	79.84	4
大津東	22	1	0	23	22	1	0	4	92.39	4
大津西	21	1	0	22	21	1	0	4	98.75	0
栗東	41	2	0	43	41	2	0	4	93.02	2
高島	48	1	0	49	48	1	0	4	100.00	2
野洲	39	1	0	40	39	1	0	4	96.10	2
八日市南	45	0	0	45	45	0	0	4	86.83	2
小計	910	24	5	929	910	24	5	3.8	93.90	39

Eクラブ(1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
日本ロータリー Eクラブ2650	42	5	0	47	42	5	0	3	100.00	6
小計	42	5	0	47	42	5	0	3	100.00	6

合計(97クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
合計	4,571	77	20	4,628	4,571	77	20	3.6	90.65	217

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、7月会員数および入退会者累計数は7月末現在です。
- ・「期首会員数」は、2017年6月末会員数です。

7月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福井	松田 将裕	経営コンサルティング
福井	天谷 智宏	損害保険
福井あじさい	坪川 俊仁	耳鼻咽喉科
福井あじさい	未永 雄樹	保険業
福井東	天谷 朱実	製造業
福井北	嶋 一哲	電気通信サービス
大野	横田 憲一	建設業
大野	山本 公啓	建設資材販売
大野	梅田 昌男	生命保険
武生	梅田 雅彰	公認会計士
敦賀	松本 好弘	セメント製造
若狭	溝口 裕之	観光事業
若狭	草木 元	電気事業
東近江	古賀 朗統	信用金庫
彦根	上山真佐子	精神保健福祉
彦根	藤岡 聖和	通信業
彦根	上西 信昭	解体工事
彦根	澤田 和重	電気通信工事
湖南	荒川 太郎	医療法人
湖南	梅中 幸治	金属加工業
水口	富岡 隆一	薬品卸
守山	神藤 高敏	地方行政
長浜	松山 隆一	ホテル
長浜北	萩原 英樹	造園
長浜東	武田 保雄	人材派遣業
近江八幡	垣内 健太	写真業
近江八幡	宮尾 英昭	印刷業
近江八幡	遠藤 良則	商業銀行
近江八幡	村田宗一郎	和欧レストラン
大津	岡井 克之	電気工事
大津	田邊 信彦	生命保険
大津東	上原 博一	教育コンサルタント
大津西	北村 茂敏	建築
栗東	大熊 丈二	陶磁器小売

クラブ名	氏名	職業分類
栗東	南 新介	運送業
高島	桂田 達夫	経営コンサルタント
野洲	林 宗一	建設リース業
亀岡	余田 誠	建築工事
亀岡	張本 昌義	産業廃棄物処理業
亀岡	宮川 忍	電気工事
亀岡中央	久志本貴宏	内装工事
亀岡中央	山本 勝仁	土木請負
京丹後	村尾 和孝	アルミ鍛造
京丹後	藤井美枝子	建築
京都	川本 文雄	事務用品販売
京都平安	堀 恵子	メンバーズクラブ
京都桂川	中島 一行	木材卸売業
京都北	森 一真	証券業
京都南	阿久津勝己	ビール製造
京都南	坂本 康浩	旅行業
京都南	山岸 祐治	広告業
京都南	大野 雅章	信用金庫
京都南	齋藤 博	貴金属小売
京都中	岡島 重雄	絹製品染色
京都洛東	吉田 直史	創作料理
京都洛東	青木 史朗	不動産管理業
京都洛東	仲尾 宗泰	神社
京都洛東	北舎 宏文	事業コンサルタント
京都西南	奥村 謙介	貿易商
京都西南	久保 耕太	不動産仲介業
京都紫竹	大村 一夫	鋼構造物工事業
京都山城	荒木 康寛	交流施設
宮津	谷口 政史	ゴルフコース
宮津	徳田誠一郎	日本旅館
宇治	堀井 寛和	司法書士
宇治鳳凰	村田 和弘	農園
生駒	前田 良一	幼児教育
奈良	村上 太胤	仏教

クラブ名	氏名	職業分類
奈良東	和田 欣也	総合建設
奈良東	高垣 一生	旅行業
奈良大宮	西村 甲児	民事弁護士
大和高田	垣本 喜己	住宅供給
日本ロータリーEクラブ2650	金野 正敬	損害保険代理店
日本ロータリーEクラブ2650	春井 優雅	不動産業
日本ロータリーEクラブ2650	瀬田川 修	通信サービス
日本ロータリーEクラブ2650	蔵並 貴子	眼科医
日本ロータリーEクラブ2650	中出 覚	保険代理店

7月退会者一覧

クラブ名	氏名
福井あじさい	金沢 浩司
福井東	天谷 賢作
福井南	山田 耕路
福井南	松浦 悦郎
大野	中村 啓子
武生	高橋 俊雄
若狭	時岡 節夫
東近江	田井中 寛
長浜東	中尾 禮夫
大津	岩田 敏明
大津	中堀 浩三
京丹後	荻野 孝一
京丹後	田村 昭夫
京丹後	藤井 賢三
京都	丹羽 亨
京都東	日置辰一郎
京都洛中	井原 浩二

逝去会員一覧

東近江	上田善四郎
京都伏見	森 清史
京都北	黒田 玄督

文庫通信 (360号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

- ◎ 「職業奉仕とロータリーの魅力」 大迫三郎 D.2730 2016 30p
- ◎ 「ロータリーの根幹は『ロータリーの目的』が規定する職業奉仕である」 D.2760 2017 90p
- ◎ 「ロータリーって何だろうークラブ奉仕を中心に」 松山R.C. 2012 73p
- ◎ 「新会員推薦の手引き」 大阪R.C. 2013 9・23p
- ◎ 「ロータリーのしおり」 明石西R.C. 2014 22p
- ◎ 「シェルドンなきロータリー」(シェルドンの森を巡る旅) 田中 毅 源流の会 2017 6p
- ◎ 「ロータリーの正義(Ⅲ)」 田淵水作夫 2017 55p [上記申込先: ロータリー文庫]
- ◎ 「ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ」 ロータリー米山記念奨学会 2017 127p [申込先: ロータリー米山記念奨学会 TEL (03)3434-8681]
- ◎ 「ロータリー情報ハンドブック(改訂第2版)」 ロータリー情報研究会 2017 821p [申込先: ロータリー情報研究会 FAX (050)3730-5737]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館～午前10時～午後5時 休館～土・日・祝祭日



国際ロータリー第2650地区 ホームページの紹介

第2650地区のホームページ <http://www.rid2650.gr.jp>

第2650地区のホームページでは、各地区委員会活動の報告や各クラブからの事業報告、様々なメッセージ等を掲載いたします。ぜひご覧になってください。



Kyoto 国際ロータリー第2650地区
Nara 2017-18年度ガバナー 田中 誠二
Shiga ガバナー事務所●
Fukui 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室
TEL:075-343-2650 FAX:075-343-2651 E-mail:gov2017-18@rid2650.gr.jp